キラメキ

新見南中学校学校だより

教育目標　希望ある未来を切り拓く生徒の育成

令和７年４月15日（火）　第２号　　文責　千原　隆

チーム担任制（学級担任２人制）について

学校評価アンケート項目に「学校に相談できる先生がいる」という質問の肯定的回答率がＲ５年度（６５％）Ｒ６年度（７０％）と質問項目の中で一番低い割合を示しています。今年度は、この値を解消のため担任を２名にすることによって生徒を多面的・多角的に理解し、一人一人にきめ細かな指導ができるようにチーム担任制（学級担任２人制）を導入しました。

具体的な方法（TT）

○担任と副担任ではなく担任が２人いる。（役割は、T1 が担任２名、T2 が主任）
○業務は分担する。（お互いが配慮する）
○朝の活動、朝の会、帰りの会、道徳、学活、総合学習の授業も担任２名で行う。
○授業の形態は、お互いで相談して決める。
○保護者懇談対応も２名で行う。
○定期の教育相談も２名で行う。（2 人いることで相談しやすくなる）
○不定期の教育相談はそれぞれが個別に行う。
○通知表、指導要録の作成も共同で行う。（違う視点で生徒を評価する）
○５月の中旬より　～　毎週水曜日に担任２名が短学活に学年ローテーションで入る。

職員会議後の校内研修ではこんなことをしています

研究主題【知的好奇心を持ち主体的に学ぶ生徒の育成】
○南中プロジェクト部会（各学年テーマ別の課題探究学習・自己探究学習など）
○学級経営力向上部会（チーム担任制の実施と検証・絆づくり・居場所づくり・教育相談の推進）
○授業改善部会（家庭学習の定着と先行学習の実施・生徒のアウトプットの割合を５割に）
主体的に行動（学習）できる生徒の育成に向けて、月に１回の職員会議後に３つのテーマに分かれて研究主題に基づいた校内研修を行っています。

家庭学習が授業改善のカギ（アウトプット５割を目指して）

Ｒ６年度より先行学習を導入し、家庭学習において予習（次の授業内容のインプット）をしてくることを教科担当の先生方にお願いしています。つまり予習が「家庭学習」と「次の授業」をつなぐための重要な役割を担っているからです。Ｒ７年度も授業改善に向けて家庭学習における予習がカギとなります。ご家庭におかれましてもお子様への声掛けのほどよろしくお願い申し上げます。

保護者の皆様には、週末課題を毎週金曜日の夕方以降にメールにて配信しています。今年度より各教科の単元テストの予定についても配信いたします。定期考査以上に単元テストにおける振り返りが重要になってきます。指導と評価の一体化を目指します。